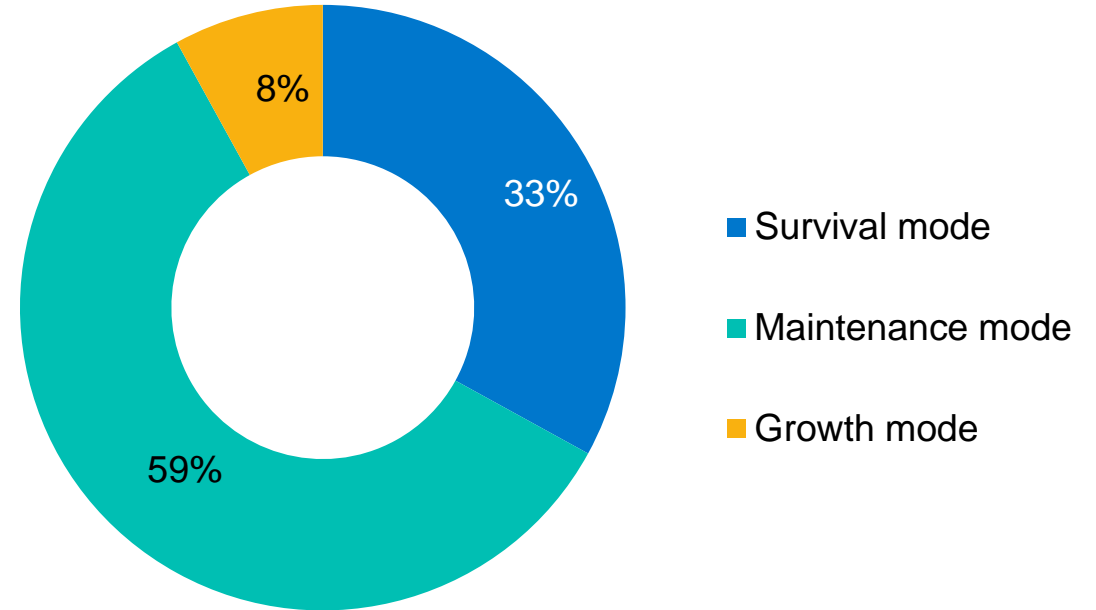


コロナ禍を迎えおよそ1年、大多数の企業は現在もサバイバルモードや現状維持モードに留まっている。

自社のサービスやソリューションに対する需要が高まり成長モードにある企業は10%以下。

コロナ禍の影響を受けた貴社の状況を最も適切に表すものを選択してください。



欧州各国の企業の多くは、サバイバルモードにある（ドイツ：60%、オランダ：64%、フランス：59%）

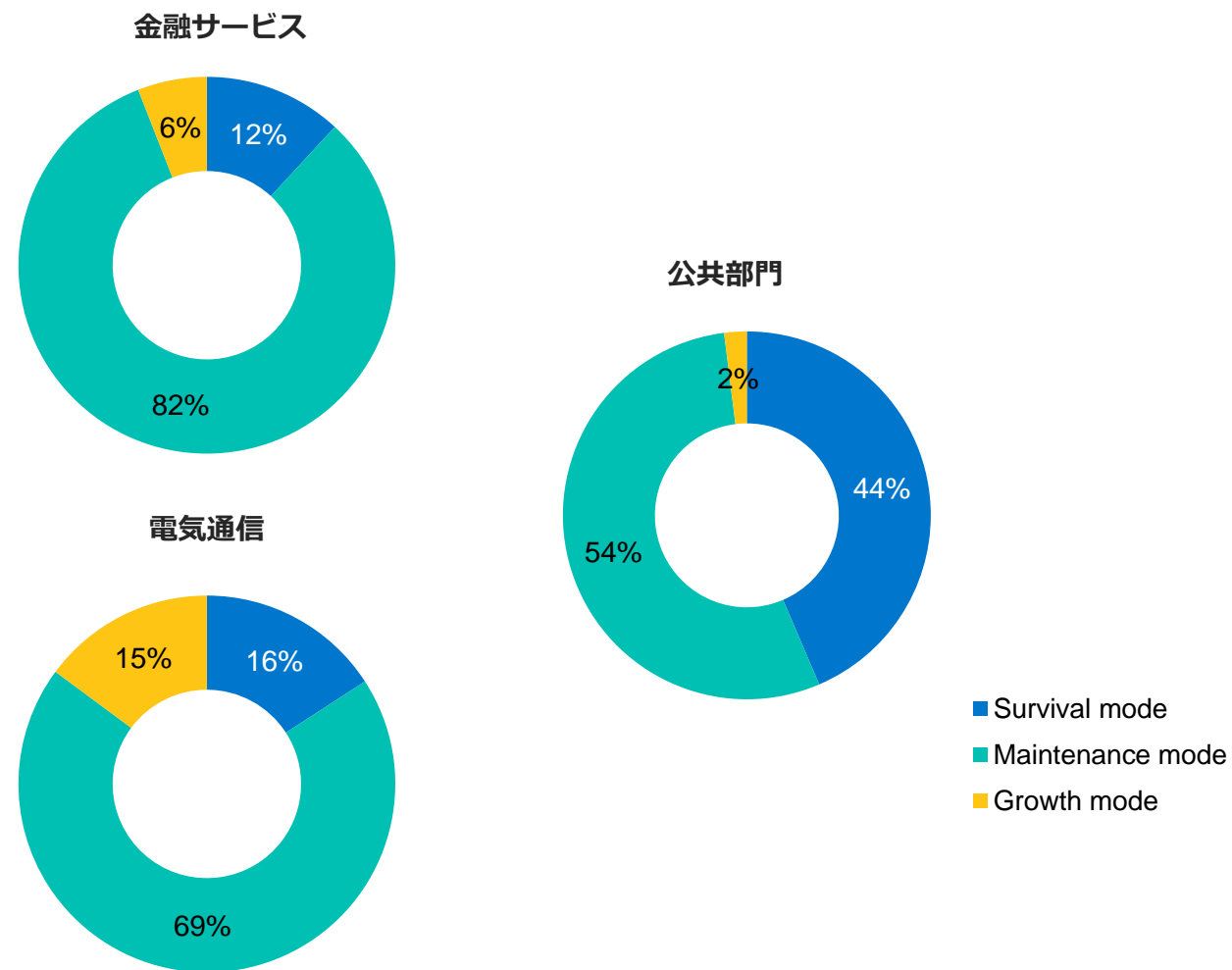
北米企業の75%近くが、現状維持モードと回答

成長モードにある企業の割合が最も高い国は、中国（21%）と日本（16%）

わずか15%ながら、
成長モードの企業が
最も多い業界は
電気通信業界。

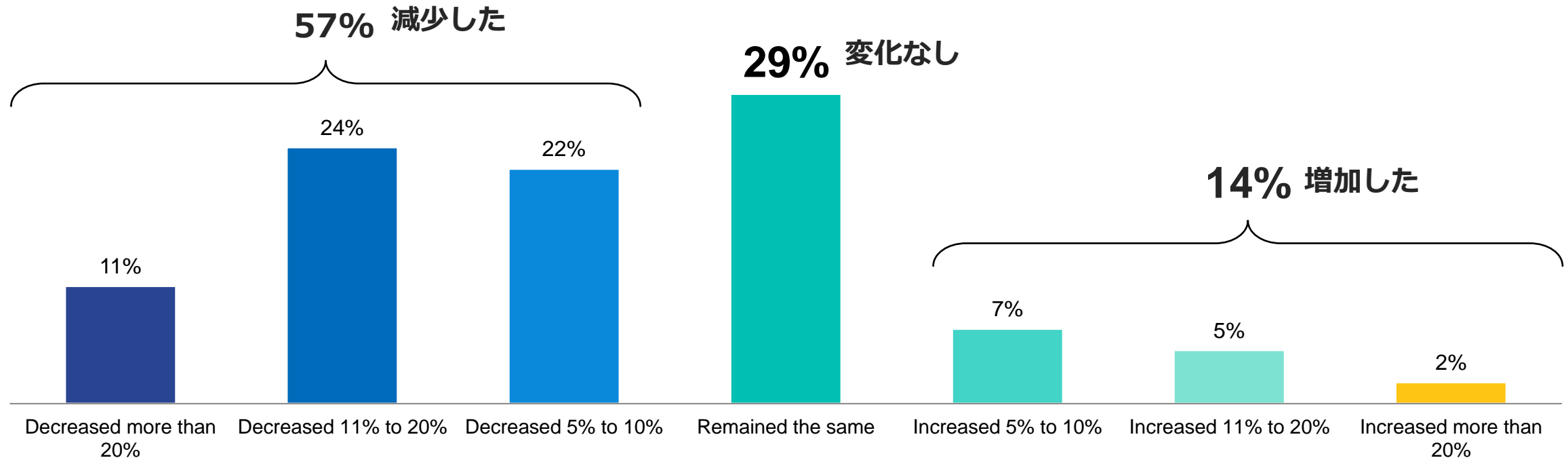
金融サービス業界の企業は、
主に現状維持モード。
公共部門は、サバイバル
モードと現状維持モードに
二分化。

コロナ禍の影響を受けた貴社の状況を最も適切に表すものを選択してください。



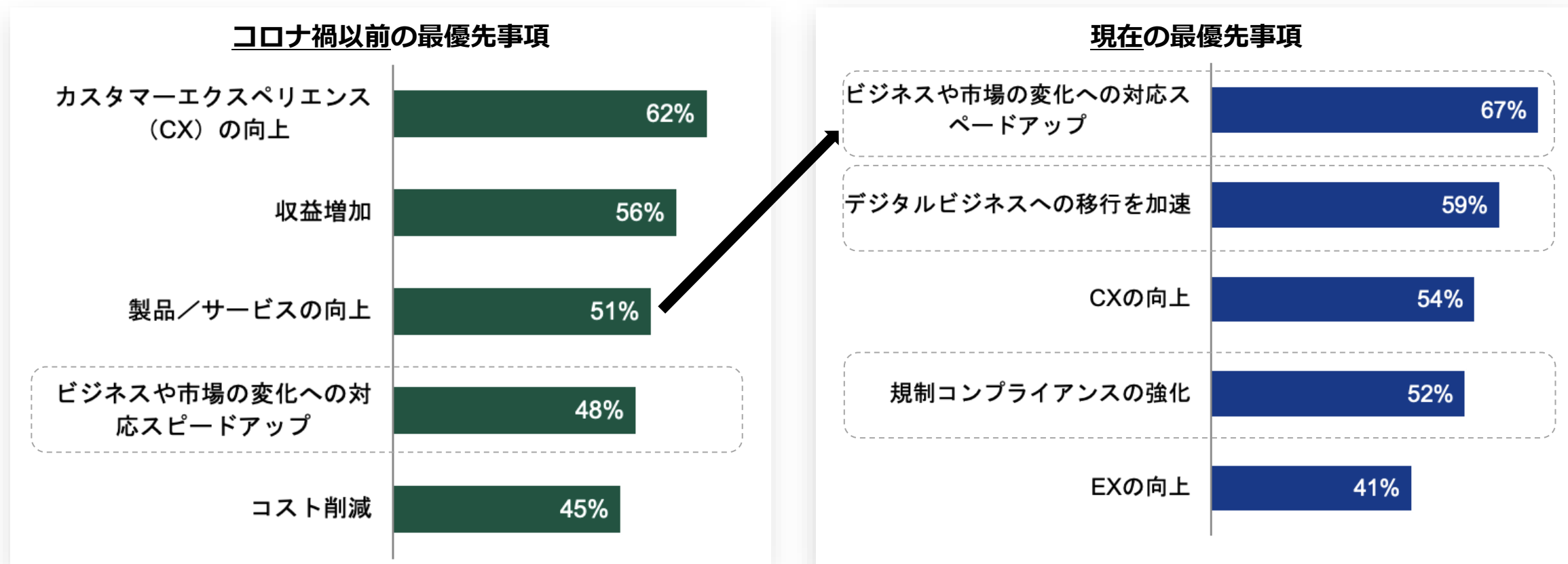
サバイバル／現状維持モードにある企業の予算に関する追加調査から、2020年は過半数の企業でIT・テクノロジー予算が減少していることが判明。

ITリーダーの3分の1以上が、今年のIT予算は10%以上減ったと回答。



ビジネスや市場の変化に対応するため、ITリーダーはスピードを優先し、デジタルビジネスへと移行し、従業員エクスペリエンス（EX）を重視している。

コロナ禍以前および現在において、貴社のビジネスにとって最も優先される取り組みをそれぞれ選択してください。



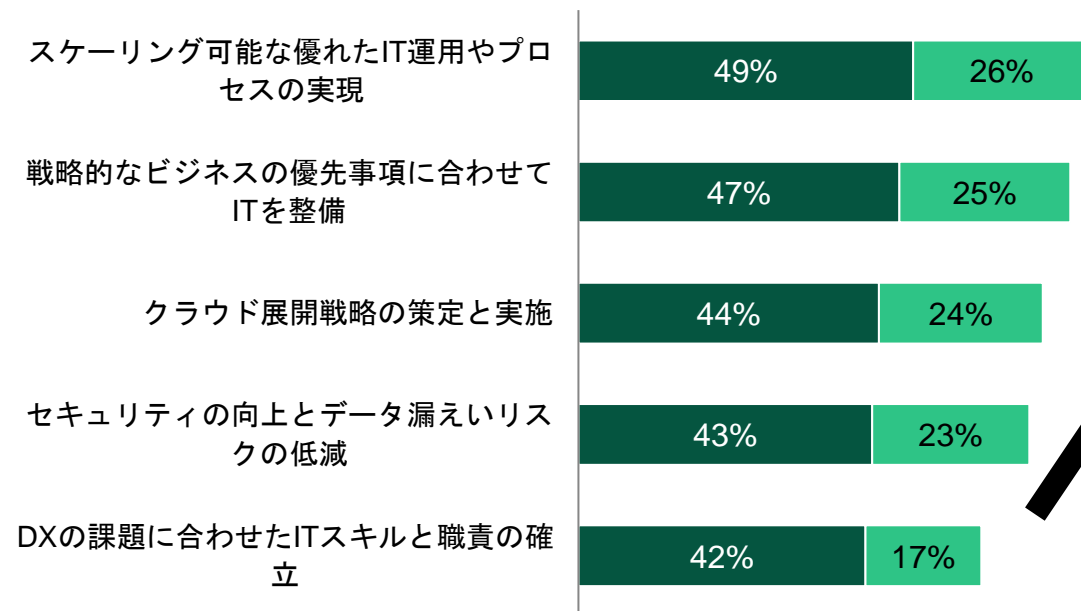
コロナ禍を経て、ITリーダーはデジタルトランスフォーメーション（DX）の課題に合わせたITスキルの整備を重視。セキュリティの優先度も依然極めて高い。

B2BでもB2Cでも対面での対応が難しくなり、DXの加速が不可欠に。

IT関連の以下の優先事項について、コロナ禍以前および現在における貴社にとって最も優先されるものをそれぞれ選択してください。

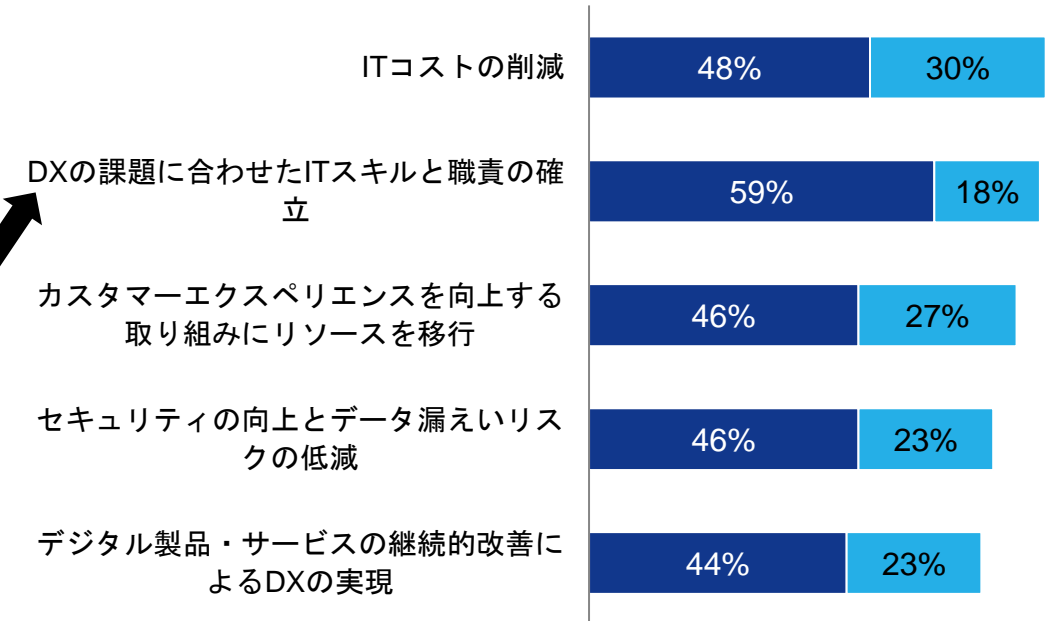
コロナ禍以前におけるIT関連の優先事項

■ 非常に重要 ■ 極めて重要



現在におけるIT関連の優先事項

■ 非常に重要 ■ 極めて重要



企業は、従業員エクスペリエンス（EX）に注目し、データを活用してインサイトドリブンを実現することで、適応力を向上するための重要施策を講じているが、成功を阻む課題は残されている。

貴社は、ビジネスや市場の変化に素早く適応するために、どのような対策を講じていますか？

63%：データのサイロ化を低減し、従業員に対するデータの共有を高める

60%：分散している人材の生産性とパフォーマンスを上げるため、EXに投資している

59%：適応力が高いビジネスモデルを構築している
49%：適応力が高い人材を育成している

貴社の適応力向上を阻む最大の問題は何ですか？

しかし

48%：データ品質の問題を認識している（例：データキャプチャ、クレンジング、統合、ガバナンス等）

しかし

30%：社内文化の問題や変化に対する抵抗がある

しかし

40%：レガシーテクノロジーや技術的負債の問題がある

日本. 企業は、従業員エクスペリエンス (EX) に注目し、データを活用してインサイトドリブンを実現することで、適応力を向上するための重要施策を講じているが、成功を阻む課題は残されている。

貴社は、ビジネスや市場の変化に素早く適応するために、どのような対策を講じていますか？

66% : データのサイロ化を低減し、従業員に対するデータの共有を高める

45% : 分散している人材の生産性とパフォーマンスを上げるため、EXに投資している

75% : 適応力が高いビジネスモデルを構築している
51% : 適応力が高い人材を育成している

貴社の適応力向上を阻む最大の課題は何ですか？

しかし

39% : データ品質の問題を認識している (例: データキャプチャ、クレンジング、統合、ガバナンス等)

しかし

23% : 社内文化の問題や変化に対する抵抗がある

しかし

29% : レガシーテクノロジーや技術的負債の問題がある

「IT環境内で、あまりにも多くのレガシーテクノロジーが使われています。それが迅速な対応だけでなく、進歩を加速するはずの新興テクノロジーの採用を阻んでいます。」

- CIO
製造（ドイツ）

「コロナ禍が原因で、これまでの働き方や、当初経験した様々なチームやリーダーからの抵抗が徐々に変化していきました。市場でのポジションや顧客満足度を保つには、最先端のプロセスを取り入れなければならないのは明白でした。今では皆の考え方が変わり、適応力が向上しました。」

- テクノロジー担当バイスプレジデント
電気通信（インド）

「以前は成長モードにあり、企業の買収と合併が事業において重要な位置を占めていました。ところがコロナ禍を経て、将来に向けた戦略が変わりました。現在はサバイバルモードにあり、他社と同じようにコスト削減を図っています。」

- CIO
飲食（オランダ）

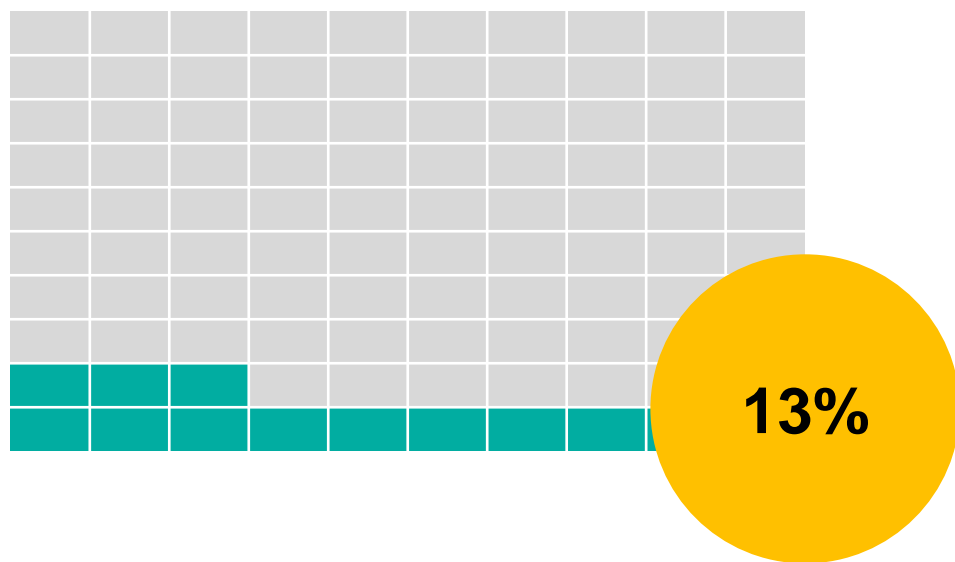
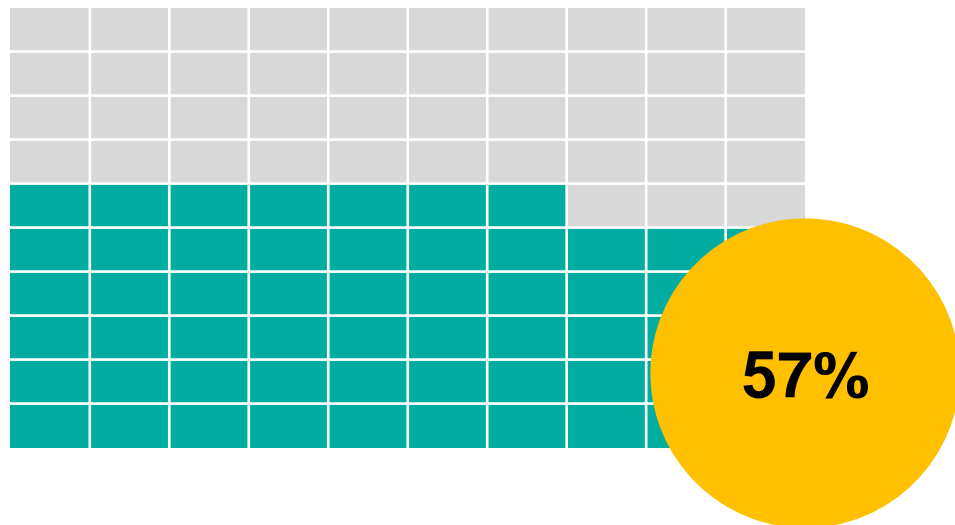
しかし、ITリーダーは、リモートで働く人材に対応するための適切なポリシーや手順作りに課題を抱え、特にヨーロッパ諸国で後れが目立つ。IT組織における変化を促す能力が不可欠とは見なされていない。

リモートで働く人材や分散した人材にまつわる以下の記述は、どの程度貴社に当てはまりますか？（「そう思う」～「非常にそう思う」の割合）

	全体	北米	イギリス	フランス	ドイツ	オランダ	インド	日本	中国	オーストラリア	シンガポール
リモートで働く人材や柔軟な働き方に対応するための適切なツール、ポリシーおよび手順がある	40%	50%	32%	35%	26%	35%	48%	40%	43%	47%	45%
分散している人材を効果的に管理し、チームの健全性を監督するためのマネージャー向けトレーニングを提供している	53%	63%	59%	45%	47%	36%	49%	56%	58%	58%	59%
リモートワークへの移行を支援するためには、IT組織で変更管理を促す力を持った人材が必要である	49%	47%	42%	47%	43%	59%	53%	42%	48%	51%	60%

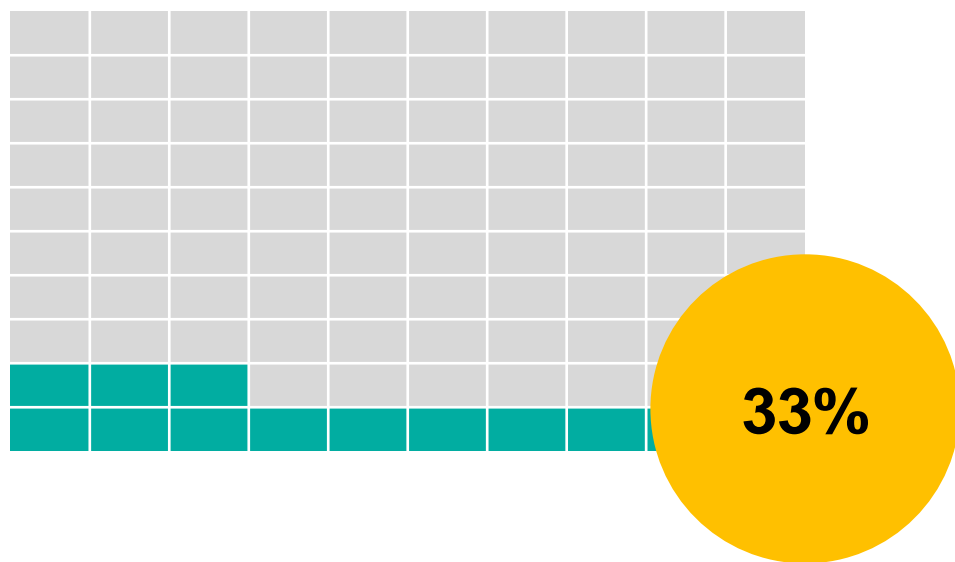
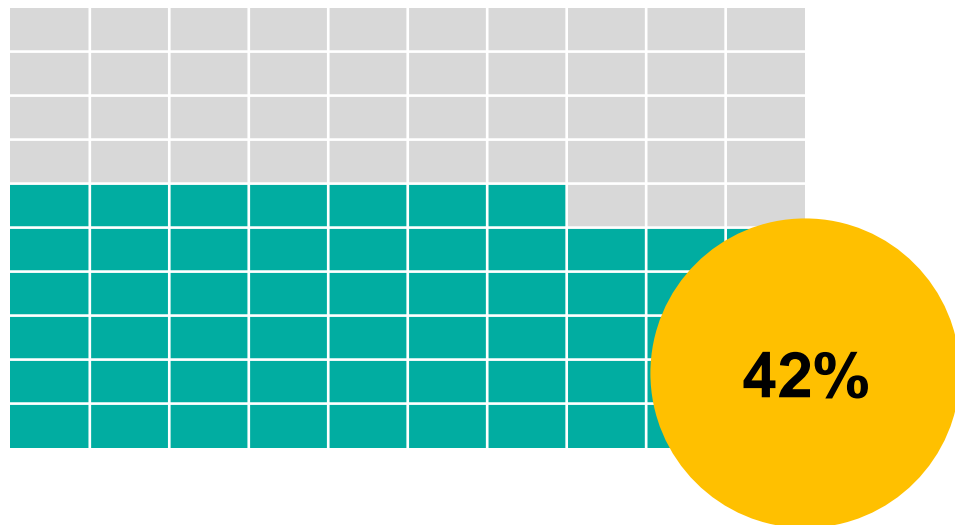
Base: 1,000 global IT leaders and decision makers

Source: A commissioned study conducted by Forrester Consulting on behalf of Elastic, February 2021



**ITリーダーの過半数
(57%) が、従業員の柔軟なリモートワークが可能になれば、企業の適応力が上がると考えている。**

ところが、全社的なEX向上のために適切なテクノロジーを提供することを個人的な目標として掲げているITリーダーは、わずか13%。



ITリーダーの多く
(42%) が、従業員の柔軟なリモートワークが可能になれば、企業の適応力が上がると考えている。

33%のITリーダーは、全社的なEX向上のために適切なテクノロジーを提供することを個人的な目標に掲げている

共感

「EXをパーソナライズしなければなりません。コロナ禍収束後の状況は人によって異なり、一般化したい気持ちはありますが、実際には各人のニーズは少しずつ異なります。また、求める従業員像を念頭に、業務を設計する必要があります。」

- CIO
公共部門（イギリス）

文化

「文化です。文化は上から下に広がります。上層部が従業員からの具体的な意見に耳を傾けない組織は成功しません。これを前提に、確固たる文化があれば、上層部の判断に自らの意見が反映された時、従業員は能力を引き出されると感じられるのです。」

- CIO
ヘルスケア（北米）

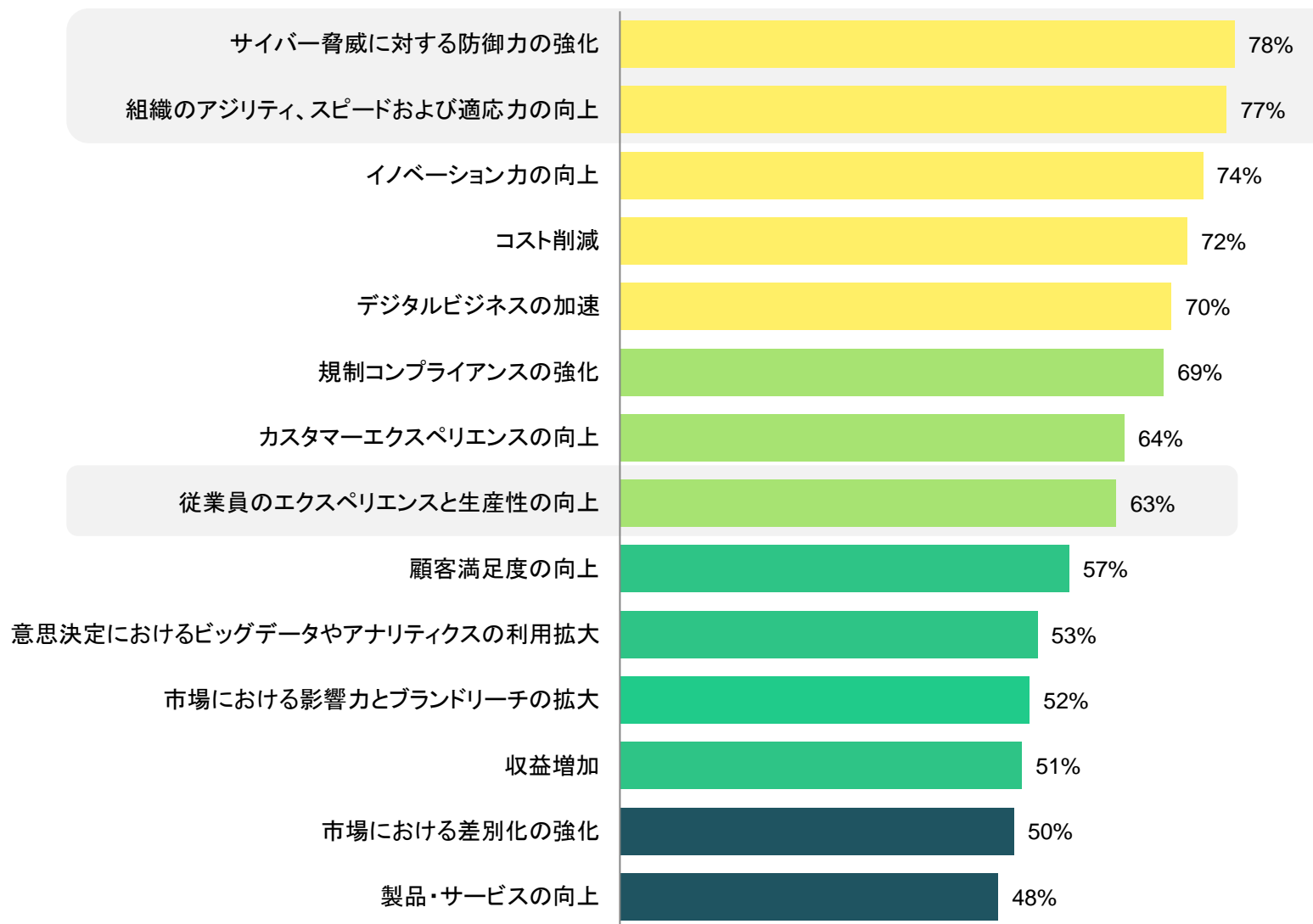
経費

「柔軟かつハイブリッドな働き方を支援するほか、コラボレーションや社会的交流を重視する必要があります。従業員にモニターやデスクチェアなどの設備購入費を支払えば理想ですが、収益性とのバランスを図らねばならず、まだ実現に至っていません。」

- ITディレクター
金融サービス（シンガポール）

組織のセキュリティと 適応力の向上は、IT リーダー個人にとって 最も重要な成功指標。

ITリーダーとしての全体的な成功を考えた場合、以下の要素はご自身の成功にとってどの程度重要ですか？（「不可欠」または「非常に重要」の割合）



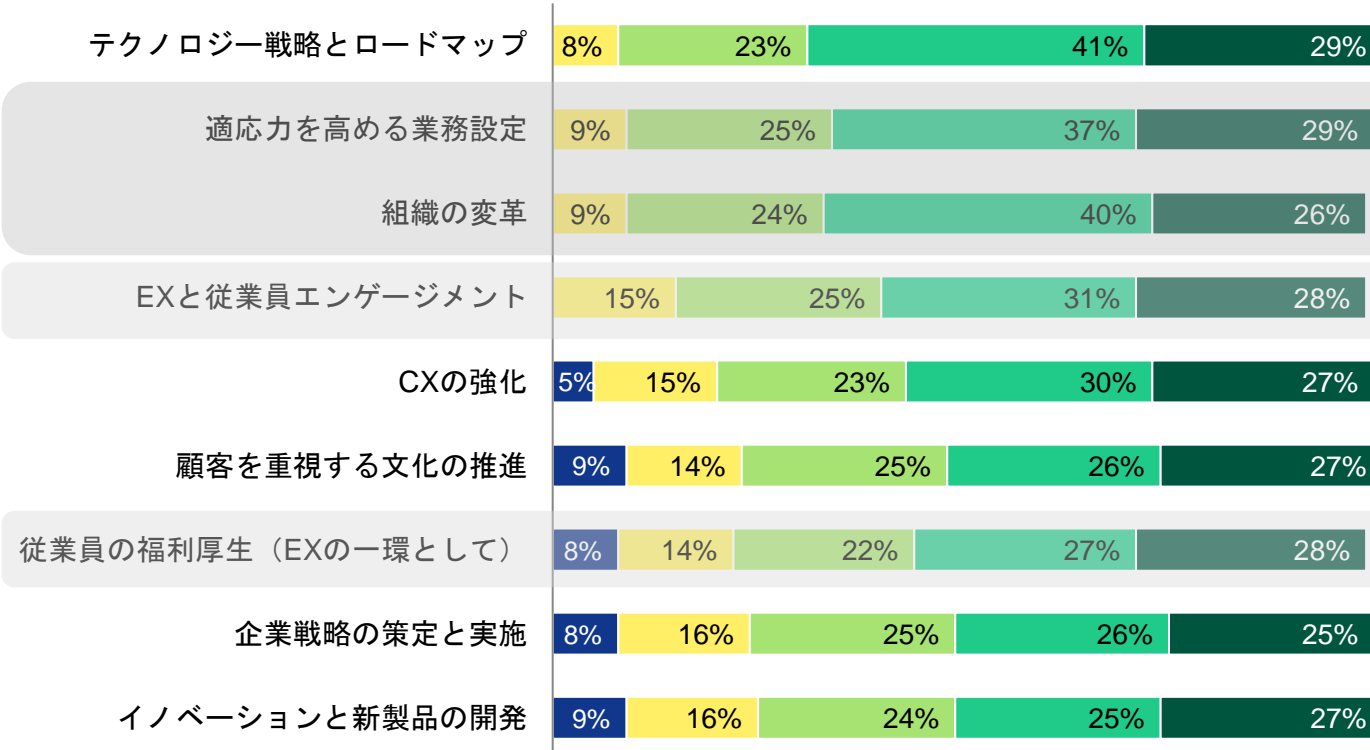
従業員のエクスペリエンスと生産性が成功指標として重視されているが、これらの指標の優先度は従来より下がっている。

コスト削減は、イギリス（82%）とドイツ（80%）のITリーダー個人にとって最も重要な成功指標の1つ

ITリーダーは、適応力の向上や組織の変革において従来より重い責任を負っている。ほぼ3人に1人のITリーダーは、今年、EX分野の責務が増したと回答。

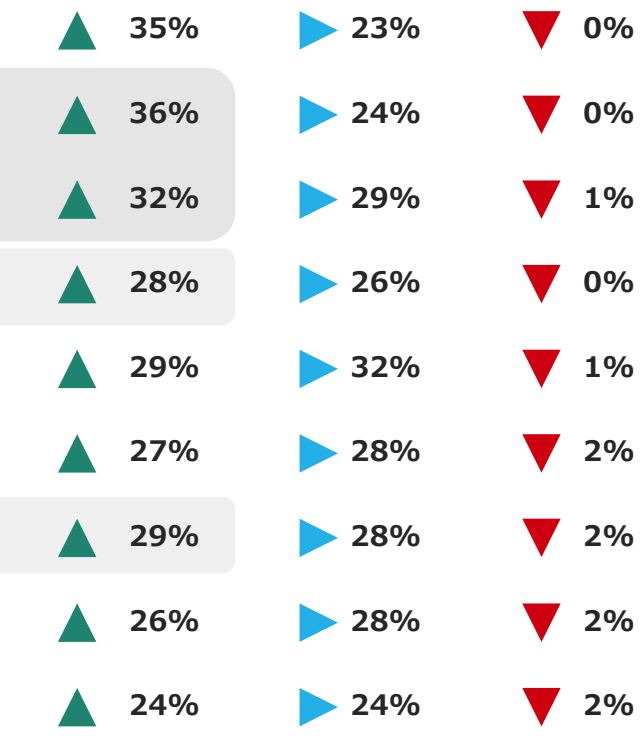
以下の分野におけるご自身の責任レベルを教えてください。

■一切関与していない ■ 影響力がある ■ 協力している ■ 関与している ■ 直接的な責任を負っている



今年、（コロナ禍が原因で）ご自身の責務はどの程度変化しましたか？

▲ 大幅に増加 ▶ 変わらない ▼ わずかに減少



回答者：世界のITリーダーおよび意思決定者 1,000人
 出典：Elasticの委託によるForrester Consultingの調査（2021年2月）

日本. ITリーダーは、適応力の向上や組織の変革において従来より重い責任を負っている。ほぼ3人に1人のITリーダーは、今年、EX分野の責務が増したと回答。

今年、（コロナが原因で）ご自身の責務はどの程度変化しましたか？

▲ 大幅に増加 ▶ 変わらない ▼ わずかに減少

テクノロジー戦略とロードマップ	▲ 32%	▶ 24%	▼ 2%
適応力を高める業務設定	▲ 37%	▶ 27%	▼ 1%
組織の変革	▲ 33%	▶ 36%	▼ 1%
EXと従業員エンゲージメント	▲ 25%	▶ 32%	▼ 0%
CXの強化	▲ 29%	▶ 36%	▼ 1%
顧客を重視する文化の推進	▲ 19%	▶ 33%	▼ 4%
従業員の福利厚生（EXの一環として）	▲ 29%	▶ 32%	▼ 8%
企業戦略の策定と実施	▲ 24%	▶ 29%	▼ 5%
イノベーションと新製品の開発	▲ 25%	▶ 26%	▼ 0%

回答者：ITリーダーおよび意思決定者 100人

出典：Elasticの委託によるForrester Consultingの調査（2021年2月）

連携

「コロナ禍以前は、IT部門と事業部門が分断されていました。現在では、事業部門との協力関係が高まり、全事業部門間（物流、マーケティング等）の連携が拡大しました。ITサポートも標準化され、DXが加速し、共通のビジネス戦略に対する明確なビジョンが掲げられています。」

- CIO
ヘルスケア（日本）

説得力

「デジタルテクノロジーのコモディティ化が進んでいます…。各事業部門のリーダーが、独自に簡単にソリューションを購入し、求める結果を素早く手に入れることが可能になりました。短期的には、この方法が上手くいきます。ところが、テクノロジーリーダーは、これらがシャドーITの1つであることを理解してもらうためのコミュニケーションスキルを高めなければなりません。短期的には問題ありませんが、中～長期的には、統一性、セキュリティ、デジタルアセットの全社的一元管理の部分で大きな問題が発生するでしょう。また、プレゼン能力にも優れていなければなりません。」

- CIO
消費財（中国）

人事

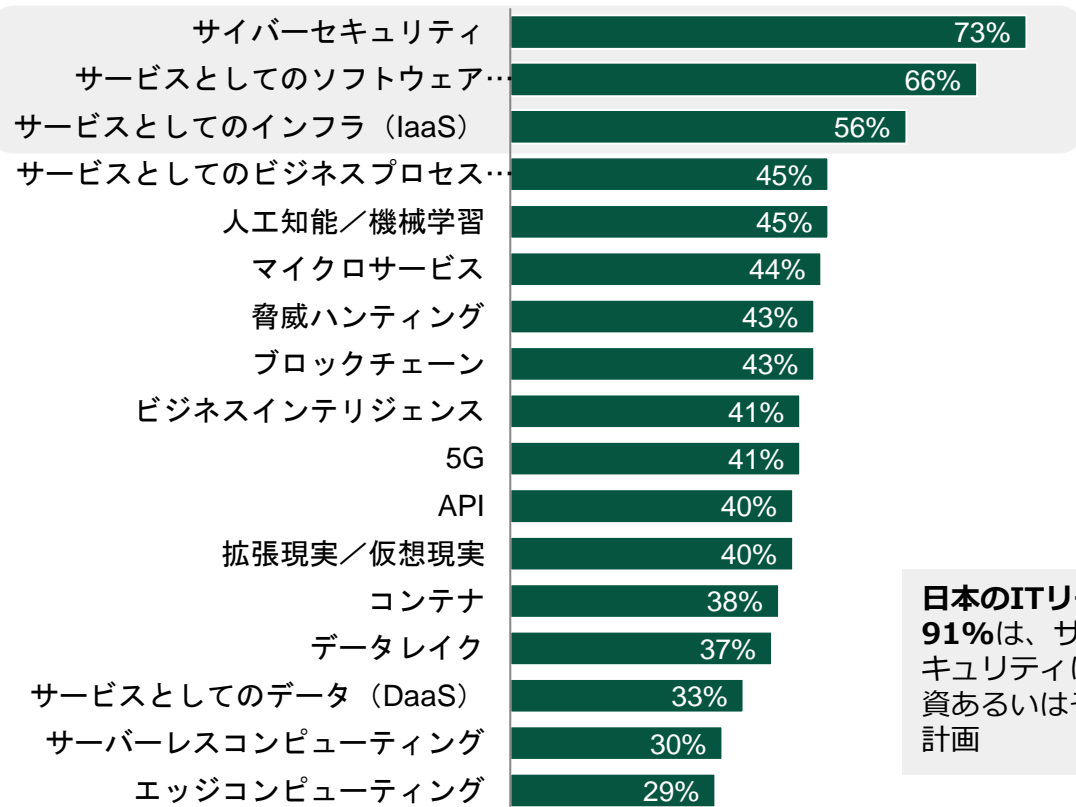
「コロナ禍において、目の届かない場所にいる人材を管理する新しい方法を定義することが重要な課題の1つでした。人事部と密接に連携し、ツールの使い方をサポートし、ミーティングの設定やリモート [人材] 管理等、多くのイニシアチブを支援しています。コロナ禍以前は、これほど密接に人事部と連携することはありませんでした。」

- CIO
交通・物流（フランス）

ITリーダーは、適応力向上に向け、サイバーセキュリティおよびSaaSやインフラに投資しこれを拡大するのみならず、DXプラットフォームやリモート人材関連のテクノロジーの採用を計画している。

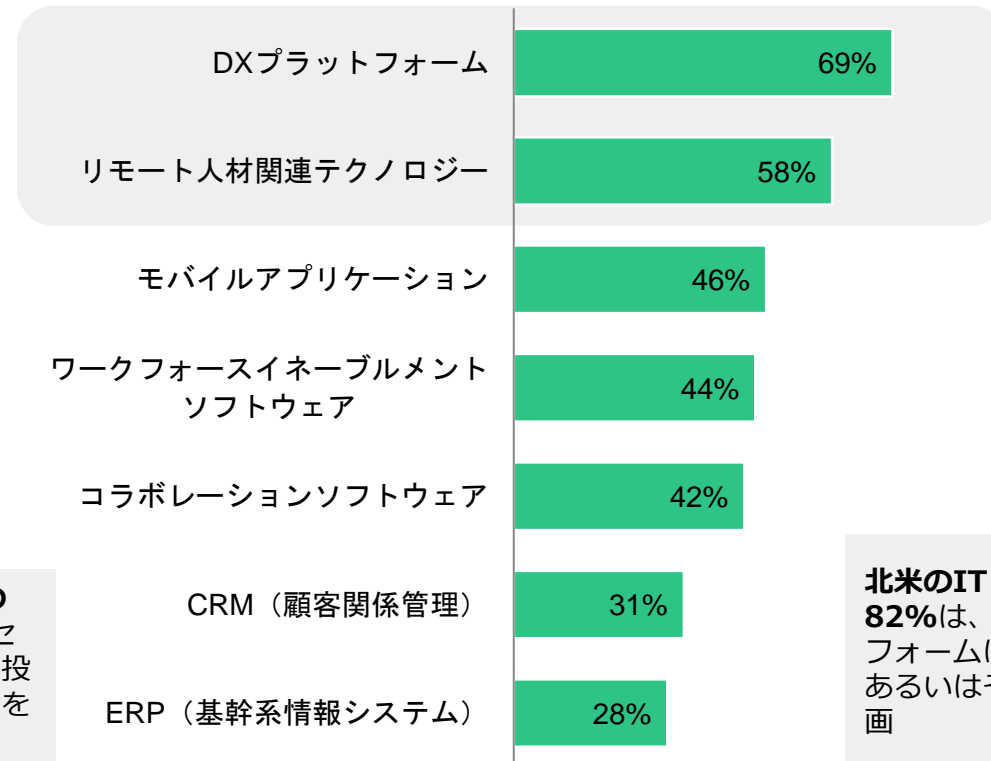
ご自身/貴社は、適応力向上に向け、投資や拡大、あるいはその両方を計画している新興テクノロジー分野やテクノロジーはどれですか？

新興テクノロジー分野



日本のITリーダーの91%は、サイバーセキュリティに対する投資あるいはその拡大を計画

テクノロジー

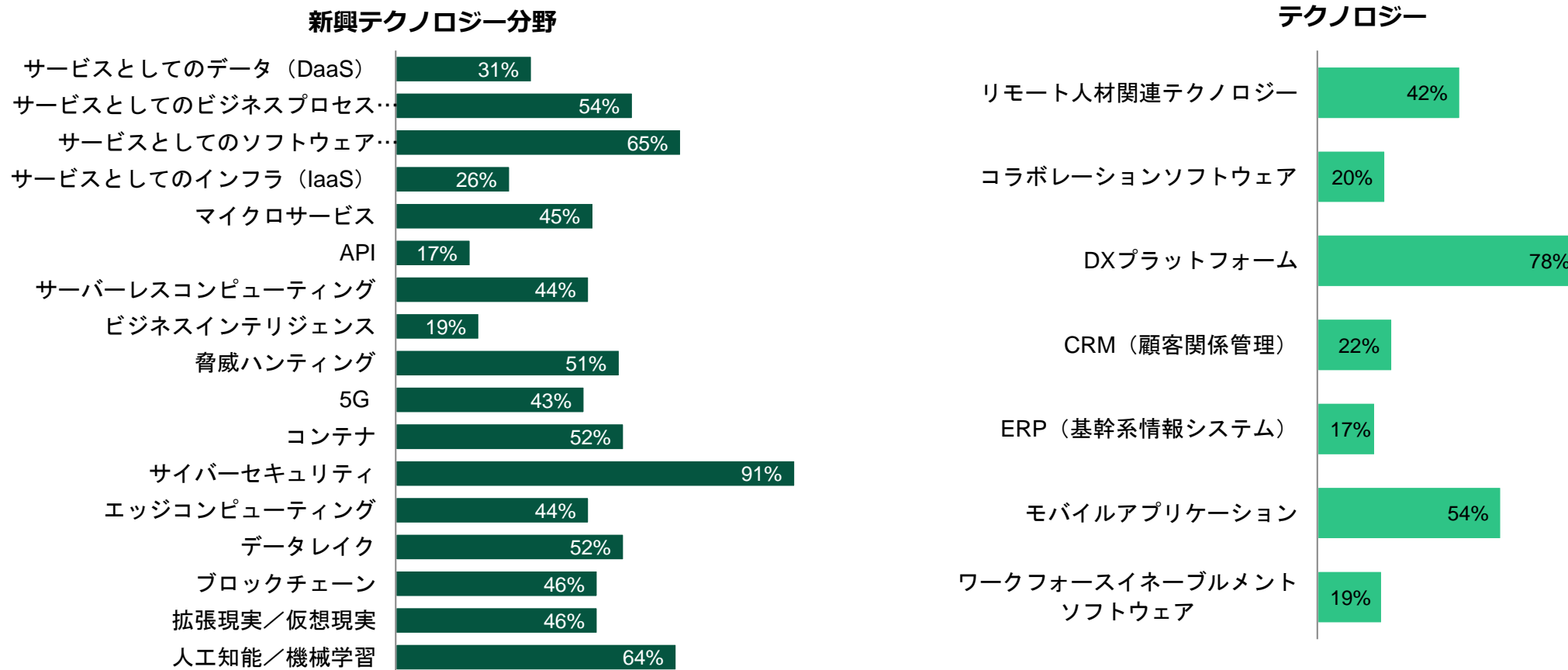


北米のITリーダーの82%は、DXプラットフォームに対する投資あるいはその拡大を計画

回答者：ITリーダーおよび意思決定者 100人
出典：Elasticの委託によるForrester Consultingの調査（2021年2月）

日本. ITリーダーは、適応力向上に向け、サイバーセキュリティおよびSaaSやインフラに投資しこれを拡大するのみならず、DXプラットフォームやリモート人材関連のテクノロジーの採用を計画している。

ご自身/貴社は、適応力向上に向け、投資や拡大、あるいはその両方を計画している新興テクノロジー分野やテクノロジーはどれですか？



回答者：ITリーダーおよび意思決定者 100人
 出典：Elasticの委託によるForrester Consultingの調査（2021年2月）

3社中1社以上が、従業員の生産性を上げるために、企業向けコラボレーションテクノロジーの利用を拡大。

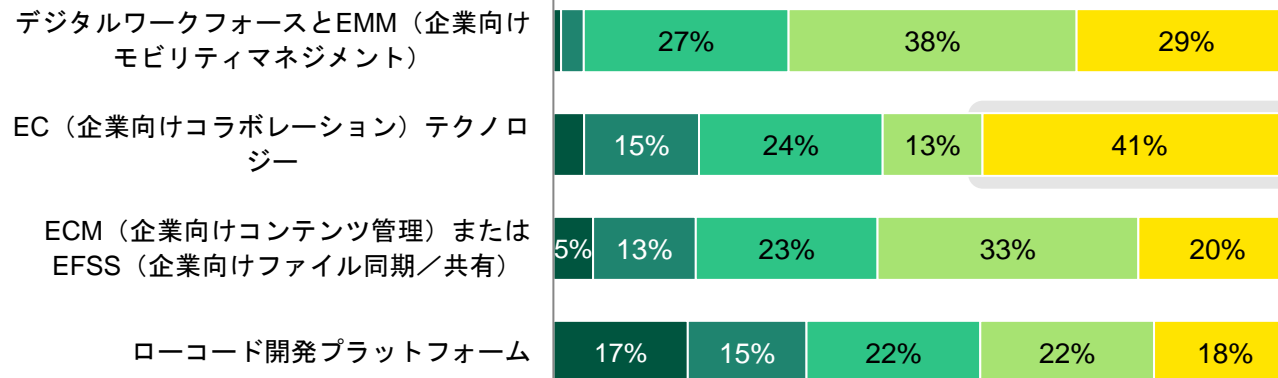
支援システムについては、ITリーダーの41%が、時間や場所を問わず、従業員の疑問に答え、支援を提供できるセルフサービス型ツールを実装中/実装済みであると回答。

37%が、従業員の健康とウェルネスを向上させるためのソフトウェアソリューションを実装中/実装済みであると回答。

EXを支援するために、どのようなITシステムを導入する予定ですか？

- 興味はあるが、近いうちに導入する予定はない
- 1年以内に導入予定
- 実装中
- 実装済みだが、近いうちに拡大する予定はない
- 実装済みで、現在拡大中

業務システム



支援システム

